

# 2025年（令和7年）度事業報告書

特定非営利活動法人 インファクト

## I 事業期間

2025年1月1日～2025年12月31日

## II 事業の成果

ファクトチェックへの関心が高まる中、ファクトチェックを誤解する動きも出てきており、今年度のInFactの活動はファクトチェックへの取り組みを充実させることでファクトチェックとは何かを示すとともに、ファクトチェックに関するセッションを開いたり、大学でファクトチェックに関する講義を行うなど、期間を通じてファクトチェックに特化した取り組みを実施した。

2025年度のファクトチェック大賞では3年連続となる優秀賞を獲得した。これは自民党の小林鷹之議員の原発再稼働と電気料金を関連付けた発言を調べたもので、選考委員からは「昨年、総裁選に立候補した小林議員は「コバホーク」としての注目度も高く、その発言も影響力があります。電気料金に東西の格差はあるのか、あるとすれば、それは原発の再稼働による差なのか。記事では、言説の真偽確認だけでなく、電気料金には、福島第一原発事故における損害賠償金や原発を円滑に廃炉にする費用等の原発関連費が上乗せされ、もとより原発ありきの構成になっていることが、筆者が作成した表をもとに丁寧に説明されています。原発再稼働の問題は国民の重要な関心事です。電気料金の仕組みから電気料金と原発の再稼働の関係の根拠を示しながら論じた本記事は説得力があり、評価できます」との評価を得た。

## III 事業の実施状況

### 1 特定非営利活動に係る事業

事業① ウェブサイトの充実を図った。

(内容) 参議院選挙において同志社大学、大東文化大学の学生の参加を得て集中的にファクトチェックを行い、全部で40本の記事を出した。その他一般のファクトチェックが38本、ウクライナの現地ルポ2本、InFactが引き続き取り組んでいるワクチンに関する調査報道1本を掲載した。

事業② ファクトチェック普及活動

(内容) 大阪芸術大学短期大学部、同志社大学、南山大学、大東文化大学にてファクトチェックについて講義を行い、ファクトチェックの普及に努めた。また日本メディア学会の大会でも、ファクトチェックに関するセッションを開きジャーナリストのみならず研究者にもファクトチェックについて考えてもらう機会を持った。

事業③ 大手メディアを通じたジャーナリストとしてのものの見方の紹介

(内容) インファクトで取り組んでいる取材に基づいたものの見方、政治的な立ち位置に立たずにファクトに基づいた判断をすることの重要性を大手メディアでも伝えた。

毎日放送「よんちゃんTV」 水曜日レギュラーコメンテーター。

毎日放送ラジオ「立岩陽一郎のファクトチェックラジオ」3回（不定期）。

フジテレビ「めざまし8」火曜日レギュラーコメンテーター（2025年3月末で番組終了）。

#### IV 社員総会の開催状況

（日時） 3月27日 13時～14時

（場所） 当事務所及びオンライン

（社員総数） 11名 出席者数 11名

（内容） 第1号議案 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び活動報告書付議の件、議長より議事録署名人として、立岩陽一郎、豊村八千代の2名を指名したいとの提案があり、これを諮ったところ全員異議なく承認した。全議案とも審議の結果満場一致で可決承認された。

#### V 理事会の開催状況

（日時） 3月27日 14時～15時

（場所） 当法人事務所及びオンライン

（出席者数） 5名

（内容） 議案 代表理事任期満了に伴う改選の件

議長より議事録署名人として、立岩陽一郎、富士野佐和子の2名を指名したいとの提案があり、これを諮ったところ全員異議なく承認した。全議案とも審議の結果満場一致で可決承認された。